

温暖化ガスレスによる管理削減

Management reduction by global warming gasless

事業を通じたSDGsの取組み

“今、お使いの **持続可能な社会**
工作機械付属オイルチラーは**サステナブル**な物ですか？”

◆12 つくる責任 つかう責任

フロンについては当社HP【環境・エコ・取組】

2015年4月施行「フロン排出抑制法」
フロン製品ユーザに対して義務が課せられました。

- ① 製品の適切な場所への設置、設置環境の維持保全
- ② 製品の定期的な全数点検
- ③ 製品の整備履歴の記録・保存
- ④ フロン類の漏えい時における適切な措置
- ⑤ 漏えい量の報告（1000CO₂-t/年間 以上の場合）
- ⑥ 機器整備時におけるフロン類の充填及び回収の委託

「フロン排出抑制法」対象外で、管理対象を少なくし、地球環境にやさしい事業を目指しましょう！

12 つくる責任
つかう責任



◆13 気候変動に具体的な対策を

「フロン排出抑制法」対象外のオイルチラーをご存じですか？
新冷媒HFO-1234yfを採用したオイルチラーに交換すると・・・

13 気候変動に
具体的な対策を



ODP:オゾン破壊係数…0(ゼロ) GWP:地球温暖化係数…1未満

各種冷媒	フロン（特定物質）		代替フロン		ノンフロン	
	CFC-12	HCFC	HFC-32	HFC-134a	HFO-1234yf	CO ₂
オゾン破壊係数	~1	~0.52	0	0	0	0
地球温暖化係数	~14000	~2400	675	1430	<1	1
国際枠組み	1996年「モントリオール議定書」 オゾン層破壊対策		1997年「京都議定書」 地球温暖化対策		2016年「キガリ改正」 代替フロンを特定物質に追加	
経緯	2009年末で全廃	先進国2020年 途上国2030年 に原則全廃	2036年までに85%分削減		新冷媒として注目されている	

温暖化ガスレスによる管理削減

Management reduction by global warming gasless

ホットガスバイパス制御で高精度な「ノンフロン」オイルチラー

Apiste

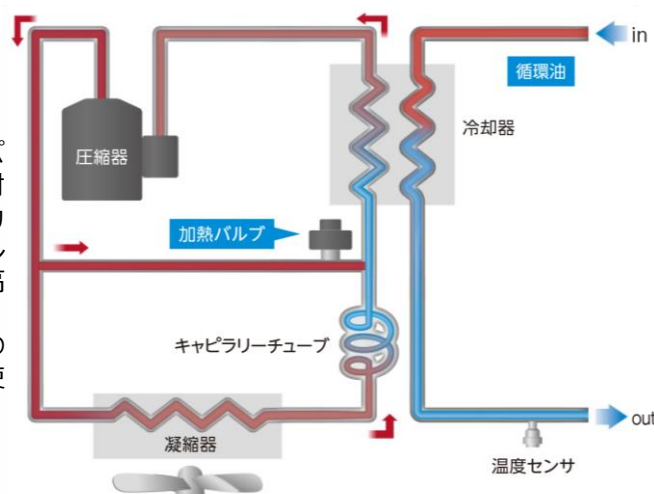
×

芝浦機械エンジニアリング株式会社



ホットガスバイパス制御で 高精度(±0.1℃)

加熱バルブによるホットガスバイパス制御を搭載しています。冷却対象側の発熱量に応じて冷却能力を可変させることで、従来のオイルチラーでは難しかった±0.1℃の高精度は油温管理を実現します。制御精度が必要な工作機械の主軸冷却などにも安心してご使用いただける仕様となっています。



私達は、持続可能性を
追いかけています。



(株)アピステと当社サステナビリティメンバー

ご用命は、当社へお問合せください。

持続可能な社会の実現に 貴社も参加してみませんか！

ノンフロンオイルチラーは、株式会社アピステが提供するサステナビリティに対応した製品です。当社ではこの優れた製品の提案に力を入れ、お客様に最適なソリューションを提供しています。環境に優しい選択肢として、ぜひご検討ください。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



芝浦機械エンジニアリング株式会社

工作機械サービス本部

御殿場工場 〒412-0038 静岡県御殿場市駒門1-120
TEL 0550-87-4054 FAX 0550-87-4057

東日本S 〒333-0847 埼玉県川口市芝中田2-9-12

TEL 048-262-0333 FAX 048-262-0332

中日本S 〒465-0025 愛知県名古屋市中東区上社5-307

TEL 052-702-7941 FAX 052-702-7945

西日本S 〒536-0008 大阪府東大阪市菱江3-14-8

TEL 072-947-5391 FAX 072-947-1041